

『パラリンピアンと国際理解を広げよう

～あきらめない先にあるもの…それは～』

元国際交流ディレクター・パラ強化コーチ 酒井 正人氏

パラリンピック選手（視覚障がいクラス）

（2016リオデジャネイロ大会・2008北京大会日本代表）

笠本 明里選手

日時：令和2（2020）年

10月8日（木曜日）

第1部 9：30～ 3・4年生

第2部 10：45～ 5・6年生

場所：二見北小学校 体育館



2020年、本来ならば今年は日本でオリンピック・パラリンピックが開かれ、世界中の選手が世界中の夢と希望をもちよって集うスポーツの祭典となる予定でした。本年開催は見送られましたが、選手たち（オリンピック・パラリンピアン）は今日も鍛錬を重ねています。オリンピックパラリンピックには、当日だけではないたくさんのドラマが日々くり広げられています。

そこには、選手だけでなくたくさんの人々が関わり合っていて、国籍や人種、また身体的な違いも超えた交流が輝いています。人間の知恵や工夫、努力、そして愛・・・多くのことを感じ取れるよい機会です。

国際理解教育・異文化共生教育・福祉教育・ユニバーサル社会・心と体のバリアフリーなどの観点からもこのオリパラ事業は展開されています。二見北小学校はその指定を受け、今回は、リオパラリンピック出場の笠本選手と元国際交流ディレクターの酒井正人さんにおこしいただいてご講演いただきます。視覚障がいを持つ選手の補助ツール、タッピング棒やブラックゴーグルの紹介や実演もしていただきます。（計画では6月のプール開きで、実際にプール実習を予定していましたが、中止のため陸上での実演となります。）

傍聴希望の方は、感染症拡大防止対策にご協力ください。お問い合わせは、教頭まで。

オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業① 二見北小学校 講演会（10月8日）

傍 聴 希 望 票

希望する部に○印

氏名（ ） 第1部 ・ 第2部

お子様（ ）年（ ）

【講師紹介】

酒井 正人氏

神戸大学卒業後 サントリー入社。その後、神戸市で小学校教師として25年間勤め、上海日本人学校を皮切りに、青年海外協力隊での日本語教師、国際交流ディレクターとして11年を中国で過ごす。現在は、国・県・市の依頼を受け各地で講演、中国語通訳や海外の方への日本語指導を行うとともに、小学生の水泳教室をボランティアで行っている。自身もマスターズの現役スイマーである。各種大会で記録ぬりかえる。

パラリンピック水泳競技で将来のメダリストを育てるための選手指導や環境づくりに取り組んでおり、JICA シニアボランティアとして、ミャンマーやネパールのパラ競泳選手団の指導にもあたった。2016年リオデジャネイロ大会では、NHK パラリンピック水泳競技の競技解説者として活躍。現在、FM 千里でラジオパーソナリティもこなす。

笠本 明里選手

神戸市出身。先天性色素欠乏症による視覚障害。2歳で水泳を始め、中学・高校は水泳部に所属し一般の大会に出場していた。2004年神戸女子大学1年の時に、身体障害者水泳チーム神戸楽泳会と出会い、パラ水泳を始める。パラ水泳の世界と出会えたことで人生が大きく変わった。その翌年2005年から2016年まで国際大会に毎年出場。2008年社会人1年目の時にパラリンピック初出場。

2008 北京パラリンピック・2016 リオデジャネイロパラリンピック水泳日本代表となる。リオ大会後も水泳を続けながら、他の様々なスポーツに挑戦し、スポーツ指導員資格を取得し勉強中。パラ水泳・パラスポーツの普及活動や講演活動も積極的に行っている。

〈資格と主な成績〉

日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導員初級

日本身体障がい者水泳連盟公認障がい者水泳指導員

2005A ユース世界選手権 50m 背泳ぎ・100m 背泳ぎ 金メダル

2006世界選手権 100m 背泳ぎ 5位入賞 フェスピック新記録

2008 北京パラリンピック 100m 背泳ぎ 7位入賞（予選アジア新記録）

2010 IPC 世界選手権 100m 背泳ぎ 銅メダル アジア新記録

2013 IPC 世界選手権 100m背泳ぎ 4位入賞

2015 IPC 世界選手権 100m 背泳ぎ 7位入賞

2016 リオデジャネイロパラリンピック出場 100m 背泳ぎ

